

令和3年度

公共事業評価実施結果一覧表

令和4年1月実施

企画課

令和3年度第1回南相馬市公共事業評価結果

No.	1	事業名	南相馬市園芸作物集出荷団地整備事業	主管課	経済部農政課
事業の目的	対象	誰に、何に対して働きかけるのか			
	対象	○農業者、卸売・仲卸業者、小売業者、消費者			
	意図	対象がどのようになることがねらいなのか			
	意図	○生産者の高齢化にも対応した高効率な流通拠点の整備により、農業者の所得と生産環境・生産意欲を向上させる。 ○消費者のニーズに対応した高品質で高付加価値な流通・加工機能を備えた施設の整備により、市内外の消費者へ豊かな食生活を提供する。 ○多様な市内農産物の消費促進、産地化につながる情報発信のため、食文化の維持及び発展にも寄与する、情報発信機能の整備により、市内外に広く「南相馬市」を発信する。			
結果	結果	どのような結果をもたらすのか			
	結果	○新規就農者の確保 ○農業所得の向上 ○営農再開の推進			
手段	建設地 原町区上高平字柳町地内（約19,000㎡）	整備概要 集出荷貯蔵施設（2,365㎡） 農産物加工施設（730㎡） 卸売市場（1,203㎡）	事業費（千円）	令和4年度	149,800
				令和5年度	1,557,950
				令和6年度	1,588,350
				総事業費	3,296,100
事業内容	令和4年度 実施設計				
	令和5年度 造成工事（Ⅰ期） 建築工事（Ⅰ期）				
事業内容	令和6年度 造成工事（Ⅱ期） 建築工事（Ⅱ期）				
	令和7年度 供用開始				
担当課による自己評価	必要性	市民ニーズ	市民ニーズはあるか		
		必要性	○農業者アンケートを平成27年に実施したが、農産物の価格低迷、安全・安心な農産物の生産・出荷が大きな課題との結果がでた。		
	有効性	行政関与	市が積極的に関与すべき事業なのか		
		有効性	○本団地は生産から流通の各工程に付加価値を付与し、市内農産物等の魅力を発信する機能を備える予定である。そのためには、各事業者がそれぞれに単独の運営を行うのではなく、市が主体となって、農業振興の誘導を図る必要がある。		
その他	成果の期待度	どのような効果が期待されるか			
	成果の期待度	○農業者アンケートより、生産物の販路は非常に重要なことであり、安定した経営を持続させる仕組みが必要と考える。本施設は、その仕組みの多くの役割を担う施設である。既農業者、新規農業者が営農にあたって、営農しやすい環境をつくる拠点となり、一次産業の維持向上に大きな影響をもたらすと考える。			
その他	優先性等	○農業者の出荷作業に係る肉体的及び時間的負担が大きく、出荷された野菜も鮮度等の管理が難しい現状にあり、また、農業者は平成27年から令和2年の5年間で52.6%減少していることから、本施設を整備することにより、早期に農業者にとって魅力的な環境を整え、農業者の生産意欲を向上させることで、農業者の減少を抑制できる。			
	総合評価	必要性・有効性がともに認められる。			

令和3年度第1回南相馬市公共事業評価結果

公共事業評価委員会評価結果	
総合評価	必要性・有効性がともに認められる。
付帯意見	<p>(1) 当該施設の維持管理については、市の関わりを明確化すること。</p> <p>(2) 市内農産物の高付加価値に繋がるような戦略的な情報発信に努めること。</p> <p>(3) 市の農業施策との整合性を図り、当該施設の公共性を担保すること。</p> <p>(4) 災害時における食料供給体制の拠点としての役割を担う施設であることを強みとして広く発信していくこと。</p>
対応方針	<p>(1) 当該施設の維持管理については、事業者選定の募集要項等の中で維持管理費や運営に係る経費の全てを事業者負担と明記するとともに、市からの補填が一切ないことを明記いたします。また、当該施設の供用開始後には、運営に関する協議会等を関係者で組織し、維持管理も含め、運営方針や事業実績などを定期的に協議し、必要に応じて、事業者に対し、助言・指導を行ってまいります。</p> <p>(2) 本市では、農産物が本来有している、あるべき形や価値を消費者に適切に提供できていない現状があることから、農業者と消費者の距離を縮め、地産地消や食育など両者が相互に応援できる情報発信が必要と考えております。このため、ホームページ、SNSなどの様々な情報媒体を活用し、まずは、農業者同士をつなぐことにより情報交換が迅速にできる仕組みや、農業者と消費者をつなぐことにより消費者の声が農業者に直接行き届く仕組みなどを構築してまいります。また、関係機関も加え、国内外の農産物の消費動向や今後の取引動向の調査など、マーケティングを踏まえた生産、販売戦略の立案を支援しながら、鮮度等の付加価値を持たせた市内農産物の情報を市内外に広く発信するなど、総合的な農業情報発信拠点となるよう、戦略的な情報発信に努めてまいります。</p> <p>(3) 既存の卸売市場や集出荷場への出荷については、一般的に数量や規格等により販売先が限定されている現状があります。当該施設では、これらに捉われない仕組みを構築し、より公共性を担保しながら、安定した販路を確保し、市内農業者の所得安定と営農意欲の維持向上に寄与するよう努めてまいります。農産物の付加価値向上や、農業者の所得向上など、南相馬市復興総合計画の分野別計画である「南相馬市農林水産業再興プラン」で掲げる「農林水産業の現場を元気にする」という基本理念を達成するために取り組むものです。</p> <p>(4) 当該施設については、本市の農産物流通を支える強靱なインフラ・システムの中核となる施設となります。また、災害時においても途切れない生産者からの出荷、流通市場への供給機能の維持と避難所等への提供等の食料提供体制の拠点としての機能を有する施設であり、これらの複合的な機能を有することを強みとして、市民等に広く情報発信し、多くの方にご利用いただける施設を目指してまいります。加えて、当該敷地内にバルク施設（ガス供給施設）を設け、災害時に食料の提供だけでなく、炊き出しもできるような仕組みを検討してまいります。</p>